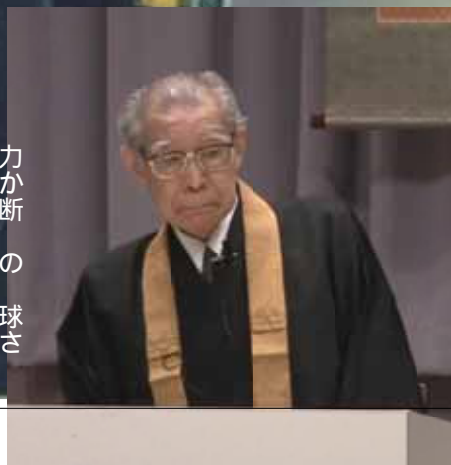


講演 安齋育郎さん

安齋科学・平和事務所所長
立命館大学名誉教授 立命館大学国際平和ミュージアム名誉館長
専門分野 放射線防護学・平和学
東京大学教官(公務員)として勤めながら、「雇い主」日本国の原子力・核政策を激しく批判してきたことで知られる。そのため不遇をこうばかりか、原子力発電所に学生を連れて見学しようとする断られたりしている。
東京大学原子力工学科第一期生 同期生には原子力安全委員などの歴任者が多い。
著書 『福島原発事故 - どうする日本の原発事故』 『核戦争と地球 - 平和をまもるために』 『茶の間で語り合う平和』 『人はなぜ騙されるのか』



2011年7月31日(日)

17:00~19:30

三次まちづくりセンター 1Fペペラホール

17:05 講演 安齋育郎さん

18:20 提言 信楽峻磨さん

18:40 対談 安齋さん・信楽さん

会費 1,000円

「原子力の平和利用」という名目で、1963年茨城県東海村で原子力発電が行われて以来、現在まで日本には54基の原発が作られてきた。しかし当初から「核(核兵器・原発)と人類は共存できない(森滝市郎)」との訴えもある。

2011年3月11日、福島第一原発の事故という未曾有の出来事を受け、今改めて「人類にとって核とは何か」を考え、将来への方向性を明確にすべきときであろう。

そのために、原子力そして平和学がご専門の安齋育郎さんと、現代科学の視点を受けとめながら、仏教の生命観・社会観を基にして社会のあり方を提起してきた信楽峻磨さんに、講演・提言をいただき、対談していただく機会を設けた。